

奈良女子高等師範学校・奈良女子大学同窓会

# 佐保会兵庫県支部だより 第44号



「希望」(ボタニカルアート) 尾形 幸子 (S47理生)

## 世紀を超えたエール

瀬川 順子(S41文英)

コロナ禍の現在、多彩な活動を誇る私たちの佐保会兵庫県支部も大きな影響を受け自粛を余儀なくされています。

ステイホームの日々、ふと手に取り読みふけたのが二十年前に発行された、『青丹よし—二十一世紀への伝言』です。これは兵庫県支部の来し方を記録し、執筆者が激動の時代を生き抜いた体験をつづり次代への伝言とし、未来を切り開く若い力に期待する熱い思いが込められた本です。

その中に次のような文があります。「支部長と頼り切っていた方が『佐保会は若い人等で協力し合って運営するように』と、さっさと降りてしまわれた。」「神戸の開放的で新しいものを積極的に取り入れる気風の中で自由に発言し行動することを認められていた私は」。ほんのわずかな抜粋ですが、この文には現在も受け継がれている兵庫県支部の気概が良く表されていますと思われまます。具体的な形となって表れている活動を挙げてみれば、各地区の当番制により、毎年新しいメンバーで編集発行される支部だより(B5版からA4版へ又カラー印刷へさらに電子版へと成長し続けています)、長年培ってきた佐保会の力を社会に還元し、また若い会員の参加をも促そうと結成された婦人学級や若草、この二つが発展的に統合された櫟の会、先進的な考えにより創設されたHP研究会(ITサロン)等。

支部だよりを読み返してみますと時代を先取りした論調が主流で、「佐保会の活性化をはかる」、「若いエネルギー」、「情報のネットワーク作り」、などの文字がそこそこに見られます。

『青丹よし』によって託された「ふるきをたづねあたらしき道にすすめやひとすぢに」の精神が芽を出して実を結ぼうとしています。県支部事務局ではすでにテレワーク、リモート会議も実施されました。コロナ後の新しいライフスタイルが模索されている昨今、「佐保会の若い人たち、頑張っ

(令和2年8月1日記)

## コロナ禍にあつて

支部長

永福より子(S44 家住)



佐保会兵庫県支部の皆様、平素は一方ならぬご理解とご協力をいただきありがとうございます。

令和2年は新型コロナウイルスに明け暮れた1年でした。この原稿を書いている11月時点では、まだコロナの勢いは衰えていませんが、支部だよりが届くころには、果たしてワクチンが開発されているのでしょうか。早く終息してほしいと願っています。

令和2年2月に乗客の新型コロナウイルス感染が確認されたクルーズ船が横浜港に入港したニュースは衝撃的で、事態の深刻さを実感させられました。東京五輪・パラリンピックの延期や「緊急事態宣言発令」、外国人の入国制限などを次々に報じるテレビに身を固くして

見入っていました。また、クラスター、パンデミック、ロックダウンと聞き慣れないものらしい言葉が飛び交いました。密閉、密集、密接の「三密」を避けることは新型コロナウイルス拡大防止の標語となり、学校は休みに、職場も在宅勤務が多くなりました。各種の集まりや音楽会、映画、外食を楽しむといった日常も「危険なこと」になつてしまいました。

コロナ禍により、支部の令和2年度事業計画も大幅に変更を余儀なくされました。支部総会は参加申込者による書面総会となり、地区リーダー会や睦会、棟の会の活動は中止となりましたが、当初計画にはなかった紅葉会が11月23日に姫路で開かれました。多くの会員の皆様に参加され、久しぶりに旧交を温めることができました。支部事業の中止や変更、ご案内は、支部会員の皆様全員にお知らせしなければならぬのですが、諸般の事情により、ホームページとメールマガジンのみでお知らせしています。ご理解のほどをお願いいたします。メールアドレスを登録されていない方はこの機会に、是非登録をお願いします。登録は、支部ホームページからできます。個人情報厳守し、佐保会以外では使用しません。

例年3月からは、支部でも会計監査や総会の準備を始める時期ですが、コロナ禍のなかでは役員会議や事務局会議を開くことができません。しかし、コロナを恐れてばかりいても仕方がありません。今できることをやろうと、ホームページ研究会の助言を得てオンライン(Zoom)会議を開くことにしました。おそろおそろ始めてみると、Zoomは案外簡単に動き出し、役員

全員が次々とオンライン会議に参加することができました。モニター画面には、顔だけでなく大きな書棚が写っていたり、ベッドが写っていたりするのも愛嬌です。こんなことができる時代がくるとは考えもしなかったことです。

昭和40年当時、奈良女子大学の学生寮には1、2年生400人が暮らしていました。不確かな記憶ですが、寮管理室には2、3台の黒電話しかありませんでした。寮に電話がかかってくると、「〇〇さん、電話ですよ」と館内放送があり、急いで管理室へ走ります。電話をかけるときは「交換手」を呼び出し、相手の電話番号を伝えて通話の申し込みをします。実に時間がかかったものです。新聞を購読している寮生も少なく、テレビは食堂に1台置いてあるだけです。情報に溢れた現

在からは想像すらできない孤島のような環境でした。学生運動が活発化し、大学の校門前には立て看板が並んでいました。それでも学生たちは本を読み、悩み、友人と未来を語りあつたものです。時間がゆっくり流れていました。

コロナ禍で家に籠もっていると新聞もじっくりと読みます。日本経済新聞に寺田千代乃アートコーポレーションkk名誉会長の「一流企業の尺度のひとつは、社員が子供を入社させたくなる会社かどうか。世間の評価も従業員の満足度も高い会社でなければそうは思わないだろう。」というわかりやすい一文がありました。これは大学にも言えることです。大学が教育・研究機関として優れているか、輩出している卒業生のレベルや地域への貢献度なども大学の評価になります。母と娘が佐保会員、祖母と孫が、姉と妹が、叔母と姪が共に佐保会員というケースが兵庫県支部でも見受けられます。娘にとつて、母たちが尊敬できる人生の先輩であり、後に続いて同じ奈良女子大学へ進学することは、なんと素晴らしいことでしょう。

国立大学法人の監事を退いて

元奈良女子大学監事

酒居 淑子 (S42 家住)



文部科学省の内部組織だった国立大学は、二〇〇四年四月、国立大学法人に移行し八六の各大学法人に監事が二人ずつ設置されることになった。

私は奈良女子大学の監事(非常勤)を七年間務め任期を終えたが、この間貴重な経験、勉強をさせていただいた。思い起こせば二〇一三年、当時の佐保会定田理事長から勧められ、突然のことです。分らないまま監事職を受けることになった。

監事は、法人の運営状況を把握し、監査し、その結果を学長に報告する責務があり、モニタリング、情報収集のため、ほぼ週一回の各主要会議に出席することになっている。監査報告書の内容は、リスクマネージメント、コンプライアンスといった経営の根幹問題が中心だが、毎年、関係教職員へのヒアリング等を実施し様々なテーマについて提言も行った。例えば受験生確保、広報戦略、ワーク・

ライフ・バランス、学生支援、男女共同参画、社会貢献、寄付戦略、直近は新型コロナウイルス対策など。

その際、心がけていたことは

- ・問題点の指摘ではなく改善への提案
- ・トップと現場の意思疎通
- ・SNSを駆使した外部への積極的な広報を念頭に監査を進めてきた。

幸い大きな問題も起こらず無事に役目を終えることができたが、大学をめぐる経営環境の厳しさを目の当たりにして驚愕したものである。大学の使命は本来、教育・研究・社会貢献だが、今は、いかに改革を進めるかが大学の評価となり、運営費交付金の査定につながる仕組みとなっている。本学は奈良教育大学との法人統合、女子大初の「工学部」設置、奈良県下の国立博物館等を含む国立教育・研究機関、企業等との連携体制を構築し「教育研究の学問の府(奈良カレッジズ)」の創成など大改革が目前に迫っている。

近畿の一三国立大学では、監事による持ち回りの意見交換会が年二回あり、私は七周年にすべての大学を訪ねる機会に恵まれた。監事は厳しい業務ではあったが、会場となった各大学の歴史や雰囲気、接し学生時代に戻ったかのようなワクワク気分を味わったこと、多彩なスキルを持つ他大学の監事とも交流ができたことなど楽しい思い出もある。

令和二年度 佐保会兵庫県支部総会

6月6日に予定していましたが令和2年度の支部総会は、新型コロナウイルス感染症防止の観点から、一堂に会する従来の総会形式ではなく書面議決による実施となりました。

5月25日、総会参加申し込み者に総会資料一式と書面表決書を郵送し、会員が署名のうえ各議案への承認または不承認を記入して返送する形で議決しました。

令和2年度総会議案

- 第1号議案 令和元年度事業報告
- 第2号議案 令和元年度棟の会活動報告
- 第3号議案 令和元年度HP研究会活動報告
- 第4号議案 令和元年度収支決算報告、及び監査報告
- 第5号議案 令和2年度支部役員他(案)
- 第6号議案 令和2年度事業計画(案)
- 第7号議案 令和2年度棟の会活動計画(案)
- 第8号議案 令和2年度HP研究会活動計画(案)
- 第9号議案 令和2年度収支予算(案)

6月6日、すべての議案が23名全員の賛成をもって可決されました。

今年度は、卒寿のお祝いは9名、卒後55年のお祝いは20名が対象です。例年は総会でご一緒にお祝いをしていましたが、今年はそのかなわなかったため、卒寿の方には奈良絵の扇子を、卒後55年の方にはお箸を支部より郵送しました。令和3年度の総会では皆様にお目にかかれることを願っております。(文責・永田)

卒後55年のお慶び

(昭和40年卒業)

- 倉賀野妙子 様 (家食)
- 藤田千佳子 様 (文英)
- 古山美智子 様 (理数)
- 田中佳世子 様 (文国)
- 鶴飼 靖子 様 (文教)
- 福井千佳子 様 (理化)
- 岡本 郁子 様 (家住)
- 滝内久美子 様 (文教)
- 二木 史子 様 (文幼)
- 目加田裕子 様 (家食)
- 小澤 詔子 様 (文英)
- 小松 昭子 様 (文国)
- 高田 昭子 様 (理生)
- 壺阪ヨシ子 様 (家住)
- 香山 昭子 様 (文英)
- 吉見 裕子 様 (文体)
- 足立 瑞穂 様 (家食)
- 米田 純子 様 (理生)
- 山城 隆子 様 (家食)
- 辻本 久代 様 (家食)

—哀悼—

坪根	ミキ	様	(S16 B理)	R1. 6. 16	没
荒井	英子	様	(S24 保)	R1. 8. 27	没
田岡	桂子	様	(S34文地)	R1. 11. 24	没
塚口	郁子	様	(S35家住)	R1. 12. 6	没
森下	敏子	様	(S38家食)	R2. 2. 18	没
長田	久美子	様	(S39理生)	R2. 3. 11	没
小野	順	様	(S32文国)	R2. 3. 15	没
田邊	富子	様	(S24理1)	R2. 4. 27	没
松岡	喜久子	様	(S26 文)	R2. 5. 31	没
鈴木	久子	様	(S37家食)	R2. 11. 12	没

卒寿のお慶び  
(昭和26年卒業)

庄司	幸子	様 (理)
井田	作美	様 (文体)
石井	淑子	様 (幼教)
今西	茅也子	様 (幼教)
大鹿	淳子	様 (家)
宮田	康子	様 (家)
鈴木	玲子	様 (家)
増田	久美子	様 (理)

令和元年度収支決算、令和2年度予算

令和2年度 兵庫県支部役員・各委員等

収入の部 (円)

科目名	令和元年度実績	令和2年度予算
前年度繰越	3,559,452	3,609,716
支部会費(A)	559,500	560,000
貯金利息(B)	5,360	22,500
本部より補助(C)	129,668	129,668
雑収入(D)	0	0
寄付(E)	129,000	0
ABCDE小計	823,528	712,168
合計	4,382,980	4,321,884

役職名	氏名	卒業年学部	地区
支部長	永福 より子	S44 家住	神戸市北区
副支部長	谷本 彰子	S49 文英	神崎郡福崎町
庶務	乙武 ヨシミ	S44 理生	明石市
	末田 香里	S45 家食・S47 家修食	明石市
	桑名 好恵	S50 家食	神戸市西区
	八百 美知子	S52 理生・S54 理修生	神戸市垂水区
	高馬 洋子	S60 家食	姫路市
	西山 衣里子	H14 生環アバ・H16 博前人	神戸市中央区
会計	門脇 千里	S53 家食	加東市
会計監査	柳瀬 あや子	S42 文国	神戸市東灘区
	高階 時子	S48 文国	加東市

支出の部 (円)

科目名	令和元年度決算	令和2年度予算	
総会補助費	△39,360	30,000	
通信費	185,363	200,000	
印刷費	19,711	40,000	
交通費	58,907	80,000	
事業費	支部だより作成費	60,000	110,000
	睦会補助	70,000	70,000
	樺の会補助	40,000	10,000
	ホームページ研究会	30,000	30,000
	地区リーダー会	50,038	60,000
もより会補助	160,416	160,416	
慶弔費	79,978	80,000	
事務費	58,211	80,000	
予備費(佐保塾担当年度のみ)	0	0	
小計	773,264	950,416	
次年度繰越	3,609,716	3,371,468	
合計	4,382,980	4,321,884	

「樺の会」 運営委員 (○印代表)	○末田 香里	S45 家食 S・47 家修食	明石市
	片寄 眞木子	S36 家食	尼崎市
	乙武 ヨシミ	S44 理生	明石市
	岩崎 雅美	S44 家被	明石市
	永田 ひろみ	S57 文教	神戸市中央区
ホームページ 研究会 運営委員 (○印代表)	○丸岡 玲子	S53 理数	明石市
	鈴木 美根子	S42 家食	神戸市西区
	乙武 ヨシミ	S44 理生	明石市
	桂 美穂子	S46 理生	姫路市
	富山 和子	S53 家住	たつの市
	山本 三和子	S55 理化	たつの市
	西山 衣里子	H14 生環アバ・H16 博前人	神戸市中央区

資産内訳(令和2年3月31日現在) (円)

定期郵便預金	2,450,000
振替貯金	666,907
通常貯金	492,809
合計	3,609,716

預り金 (円)

本部会費	411,000	411,000
------	---------	---------

一般社団法人 佐保会	監事	山崎 古都子	S41 家住・S43 家修住	芦屋市
	理事	中井 昌子	S43 家住	伊丹市
		奥山 佳世	S48 家修住	宝塚市
代議員	永福 より子	S44 家住	神戸市北区	
	乙武 ヨシミ	S44 理生	明石市	
	末田 香里	S45 家食・S47 家修食	明石市	
	谷本 彰子	S49 文英	神崎郡福崎町	
	桑名 好恵	S50 家食	神戸市西区	
	八百 美知子	S52 理生・S54 理修生	神戸市垂水区	
	丸岡 玲子	S53 理数	明石市	
	門脇 千里	S53 家食	加東市	

一般社団法人佐保会監事、理事、代議員の任期は令和2.8.1～令和4.7.31

### ご寄付のお礼

平成 25 年より佐保会兵庫県支部では会員の皆様にご寄付をお願いしています。  
 令和元年度も多くの方からご寄付をいただきました。  
 心より御礼申し上げます。ありがとうございました。  
 お寄せいただきましたご厚意は、大切に支部活動に使わせていただきます。  
 今後ともご支援のほどをよろしく願いいたします。

### 地区リーダー会・もより会報告

令和 2 年度の地区リーダー会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止になりました。  
 そこで、各地区リーダーに活動についてのアンケートを行い、後日、結果を郵送して情報を共有しました。  
 もより会については、近隣の地区が合同で催すと同期や同じ学科の会員同士の顔合わせになるという提案  
 や若い世代にも参加してもらえる企画を考える必要がある等の課題がありました。  
 春にもより会を予定していた幾つかの地区では、感染防止のため中止しました。この状況で催すには、オ  
 ンラインによるもより会の提案があった一方、実際に顔合わせをして話をするから伝わるものがあるという  
 意見もありました。  
 初めて出席して楽しかったので次も参加したい、先輩方の話を伺い有意義だった等の会員の声もあります。  
 もより会の案内が届きましたらぜひ参加なさってください。

### 令和 2 年度地区リーダー (令和 2 年 6 月)

地区(会員数)			地区(会員数)				
氏名	卒年・学部学科等	氏名	卒年・学部学科等	氏名	卒年・学部学科等		
神戸市	東灘区 (105)	岡島 順子	S57理数	阪神北	宝塚市 (78)	齋藤 真喜子	S58理数
		山田 宏子	S57理数		川西市(川辺郡)	中島 純子	S48家食S50家修食
	灘区 (37)	上原 美由紀	S62文国 H01文修国		猪名川町 (45)	小林 貴子	S52理生
		正木 みどり	H06理化	三田市 (45)	角野 敏子	S58理物	
	中央区、兵庫区	永田 ひろみ	S57文教		千代延 栄恵	S63家生	
	長田区 (60)	佐瀬 絵理子	S60理化	東播磨	明石市 (55)	藤井 稚津子	S63文体
	北区 (48)	笹谷 なみえ	S33家住		岡野 亜希子	H04文英	
		浅井 直子	H02理数	加古川市、高砂市	川崎 万紀代	S52理修数	
	須磨区 (48)	大橋 節子	S41文英	(加古郡)播磨町、稲美町 (49)	大西 香里	H06理数	
垂水区 (59)	出井 葉子	S55文教	北播磨	西脇市、三木市、小野市、加西市	村田 好子	S39家食	
	武 佳美	S56家生		加東市、(多可郡)多可町 (30)	高階 時子	S48文国	
西区 (60)	鈴木 美根子	S42家食	中播磨	姫路市、(神崎郡)神河町、	山田 元美	S57理数	
	細川 明子	S51文教		市川町、福崎町 (114)			
阪神南	尼崎市 (64)	佐藤 美子	S48文史 S50文修史	西播磨	相生市、たつの市、赤穂市、宍粟市	廣田 裕美子	S61理物
		伊藤 恭代	S54理化 S56理修化		(揖保郡)太子町、(赤穂郡)上郡町		
	西宮市 (113)	木村 恵子	S46家被	(佐用郡)佐用町 (44)			
芦屋市 (35)	森田 幸子	S46家住	但馬	豊岡市、養父市、朝来市	山本 紀代美	H06家生	
	池澤 直子	S49理化		(美方郡)香美町、新温泉町 (23)			
阪神北	伊丹市 (36)	岡本 京子	S62家生 H01家修生	丹波	丹波篠山市、丹波市 (14)	小林 嘉子	S37家被
		小川 桂子	S62家食		三角 三紀子	S44理数	
		屋島 亜矢子	H05理化 H07理修化	淡路	洲本市、南あわじ市、あわじ市 (21)	奥田 敦子	S52文国S54文修国
<b>県内合計</b>			<b>1183</b>	<b>兵庫県支部所属会員</b>		<b>1208</b>	
<b>県外(外国4を含む)</b>			<b>25</b>				

## 標の会

### 美術鑑賞 ゴッホ展

令和2年1月30日(木) 13時～

於 兵庫県立美術館 参加者 27名

末田香里(S 45家食)

集合時間13時に全員そろい、学芸員のレクチャーを受け、その後は自由鑑賞としました。

学芸員のレクチャー(13時～13時30分)ファン・ゴッホは27歳で画家を志してから37歳で亡くなるまで、10年という短い間に多くの芸術家たちと交流し、彼らから受けたさまざまな影響を吸収しながら独自の画風を打ち立てました。本展ではファン・ゴッホに大きな影響を与えたハーフ派と印象派に焦点を当てて紹介します。

第一部ハーフ派にみちびかれて ハーフ派とは19世紀後半に、オランダ南西部の都市ハーフを拠点に活動した画家たちのグループで、屋外での観察をもとに田園風景や農民の生活を诗情豊かに描き出しました。

第二部印象派に学ぶ 弟テオを頼ってパリに出たファン・ゴッホは、初めて目にする印象派の作品に大きな衝撃を受けました。そして原色を多用した明るい画面づくりと筆触を残した描き方を取り入れたことで、作風を劇的に変化させます。その後の南仏、パリ北部へと移動する中でファン・ゴッホは自然を観察し、独自の色彩と筆遣いを追求し続けました。

仲間同士でゴッホ展を鑑賞(13時30分～)今回初めてみる「薔薇」はきれいでした。「ひまわりの絵がなかったね」という声が多くきかれました。学芸員のレクチャーのおかげで、展示の流れもよくわかり、理解も興味も深まりました。見ごたえのある展覧会でした。

### 芸術鑑賞 落語を楽しむ

桂 治門 (かつら じもん)氏

令和2年2月27日(木) 11時30分～15時

於 ドンク岡本グルメ館 3階ホール

片寄 眞木子(S 36家食)

この日の舞台は嘶家の桂治門氏による落語でした。

治門氏は佐保会兵庫支部会員のご子息で、平成20年に桂小春団治師匠に入門されて、現在上方落語協会会員として活躍中です。出囃子にのって軽やかに登場し、緋毛氈を敷いた高座に登って嘶が始まりました。マクラはご自身のプロフィール紹介と謎かけから。

「インフルエンザと掛けて、結婚と解く。その心は」「熱は冷めてもせきはぬけない」また「有名な画家と解く。その心は」「ゴッホ、ゴッホ」思わず、会場から笑いと拍手が起りました。「銭湯での落語会の後、観客の一人がごはんでも食べてやとポチ袋、恐縮しながらもらって後で見たらフリカケだった」などなど、機知に富んだエピソードや小嘶の連発にうなずいたり笑ったり連続で、なごやかな雰囲気になりました。演目は時節柄、医者にまつわる話ということで、古典落語「犬の目」でした。



目がはつきりと見えないうちで、乾かしている間に飼犬に食べられてしまったことから、その犬の目を代わりに入れるというお嘶。目はよく見

### 標(ゆずりは)の会 令和3(2021)年度 行事予定

開催日	内容	会場	時間	講師(敬称略)	備考
2021年 4月22日(木)	文学講座 —神戸モダンの女—	神戸市勤労会館	13:00～15:00	大西(石塚)明子	参加費300円
6月24日(木)	心を映す写真	神戸市勤労会館	13:00～15:00	吉田 扇	参加費300円
7月29日(木)	食文化講座 —危険な食後血糖値—	神戸市勤労会館	13:00～15:00	末田 香里	参加費300円
9月16日(木) 予定	美術鑑賞	美術館 または博物館	13:00～15:00	学芸員解説 予定	入館料実費 申し込み必要
10月28日(木)	歴史散歩 西宮 —えべっさんと宮水をたずねて—	集合場所 阪神西宮駅	10:00～15:30	植岡 真弓	参加費3000円 申し込み必要
11月25日(木)	住生活学講座 —家事労働のジェンダー性—	神戸市勤労会館	13:00～15:00	山崎 古都子	参加費300円
2022年 2月24日(木)	音楽鑑賞 ピアノコンサート —歌の翼に—	未定	未定	田中 靖子	参加費未定 申し込み必要
3月24日(木)	福祉講座—統高齢者介護の現状と これからの介護サービス—	神戸市勤労会館	13:00～15:00	田村 照美	参加費300円

令和3(2021)年度 運営委員

(代表) 末田香里 (078-939-4532) (委員) 片寄眞木子・岩崎雅美・乙武ヨシミ・永田ひろみ

\* 事情により日時等変更することがあります。

\* 「申し込み必要」について:運営委員又は標の会のEメール

([yuzuriha@ml.saho-hyogo.girlfriend.jp](mailto:yuzuriha@ml.saho-hyogo.girlfriend.jp))にご連絡ください。電話、メールなどでも受付しますがその後、参加者には委員より確認の連絡を致します。もし委員よりの連絡がない場合は他の方法で再確認をお願いいたします。

えるようになったが、一つ困ったことが…オチ(犬の習性?)に納得。笑い!新型コロナウイルス禍で落ち着かない中でのひと時、18名の参加者はよく笑わせていただいていた心がパアツとあかるくなりました。インフルエンザやコロナウイルスに打ち勝つための免疫力がアップしたように思います。

治門氏の若々しい話力に魅了され、楽しませていただきました。

棟の会は会員相互の資質向上・互助・親睦を図るために、1年に8回以上の講座・実習・見学などを開催しています。行事の近々の予告を「佐保会兵庫支部」のホームページに載せています。また、終了した行事をホームページの棟の会ブログで報告しています。たくさん写真も載せていますので御覧ください。皆様のご参加をお待ちしております。佐保会員以外の方の参加も歓迎します。

## 睦会

60歳以上の方の、年に一度の親睦会です。

令和2年10月26日に開催を予定していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い会員の皆様に安心して出席していただくことが難しいと判断し中止しました。

令和3年度は昭和58年以前に卒業された方が対象で、昭和52年卒業の方々に企画とお世話をしていただきます。

皆様にお目にかかれることを楽しみにしています。

## ホームページ研究会

(S3理数 丸岡玲子)

今年は、コロナ禍の中、佐保会の活動も大きく制限されましたが、リモートワークやオンライン授業を経験され、その可能性や課題について考えられた方が多くいらつしやる事と存じます。これを機会に、皆様のいろいろな活動にも、どんどんITを活用して頂きたい、HP研究会では一緒にチャレンジしていきたいと考えています。「オンライン読書会」や「オンラインもより会」なども一興ではないでしょうか。

私事ですが、あるプロジェクトで初めてのメンバーと1カ月間リモートからだけでコミュニケーションするという経験をしました。全く顔を知らず、どういう事(内容)を言う方かと声の感じだけでプロジェクトが進み、コロナ禍が少し落ち着いた頃に初めての顔合わせ。容姿と声のギャップに驚いたり、想像通りだったり。視覚情報が無い状態で相手のキャラクターや言動に触れることは、意外と本質を知るのに役立つと気付いた事は、新鮮な発見でした。私達は美しい容姿には好感を持ち、その能力にも良い評価をしてしまうなど、無意識にフィルターを通して物事を見ているのではないかと思えます。

一方、顔を知らないメンバー間で厳しい交渉をする時には、面談の場合より一層の気遣いや言葉選びが必要になります。

世間では、SNSで傷つき命を絶つ人が後を絶たず、フェイクニュースやツイッター(Twitter)記事が政治や企業活動にまで大きな影響を持つようになっていて、ネット社会の恐ろしさや難しさを考えさせられる日々

です。ITが高度に発達する程、使用者である私達が、リアルな生活における道徳性と情報倫理を高め、物事の本質を正しく見極める見識を持たなければならぬのだと強く思います。

## 紅葉会

令和2年11月23日、姫路城・好古園紅葉会を開催し、17名が集いました。前夜の雨は上がり、散策には最適の日となりました。2名の男女のベテランガイドの案内で、姫路城は三の丸広場から眺めての説明。

「5層6階地下1階、計7階、関ヶ原の戦い以降に池田輝政が建てた平山城(ひらやまじろ)、紋は揚羽蝶」  
「姫路城の城主は最初に築城した赤松貞範からは48人



姫路城三の丸広場にて

(8ページへ)

(Forty-eight)、池田氏からは31人(thirty-one)とガイドさんの気の利いた台詞を聞きました。姫路城は明治時代に入営した日本陸軍が多く、建物を破壊したこと、大手門は昭和時代に陸軍が手を加えたことにより文化財には指定されていないこと等を知りました。好古園は平成4年に姫路城西御屋敷跡に造られた日本庭園で、手指消毒をして入場。まず節のない檜を使った立派な門を潜りました。足元の通路は大きさが違う石が数種類に分けて貼ってあるとの説明を受けるところから始まり、渡り廊下から見える池に使われている石は生野の産、苗の庭では、播磨五木(播磨地方で育てやすい5種の木)は、モッコク、キンモクセイ、カシ、カナメ、マツである等、パンフレットに書かれていない説明もありました。姫路で創業したスーパーフタギ(二木)に由来する双樹庵(そうじゅあん)では、茶室の建具について通のガイドならではの視点を披露されました。

和楽器の演奏を耳にしながら紅葉の赤を愛で、楽しいひと時を過ごしました。



## 史跡を訪ねて

神戸市中央区といえば地方自治、経済、商業の中心地で、無機質な街並みを連想しがちです。しかし、幕末に神戸港が開港されて以来、比較的新しい史跡も数多く残されています。市役所周辺の外国人居留地や神戸港、北野異人館が有名ですが、兵庫県庁附近にも史跡があります。

今回はそれらを紙上でたどってみましょう。

### 4 小泉八雲旧居跡

ラフカディオ・ハーンは来日して以来、松江、熊本で英語教師として暮らした後、英字新聞「神戸クロニクル」の記者として明治27年(1894年)に神戸に転居しました。執筆活動を続け家族と共に約2年間をこの地で過ごしました。その間に日本国籍を取得し小泉八雲と改名しました。

兵庫県中央労働センター前に碑があります。  
(下の写真 左)

神戸市中央区下山手通6丁目3-28  
Tel 078-341-2271



### 1 明治天皇御用邸跡の碑

明治19年宇治川西岸に神戸御用邸が設けられました。天津事件の直前にロシアのニコライ皇太子が訪れています。

敷地面積は約4000坪

碑はumie北西の道路をはさんだ角にあります。



### 2 鈴木商店本店跡

大正期に日本一の年商を誇った総合商社本店跡地。神戸中央郵便局の向かいにあります。(下の写真 右)

### 3 兵庫県里程元標

明治初頭に西国街道と官営鉄道の交差点が兵庫県の元点とされ、初めは相生橋西詰に木柱が立てられました。石碑には元標より各所への距離が記されています。

(下の写真 中央)

いずれも JR 神戸駅または阪神西元町駅下車





## 7 花隈城址

花隈城は築城年については諸説ありますが天正8年(1580年)池田恒興の攻撃で落城。城址は現在、花隈公園になっています。



JR 神戸～三ノ宮間で車窓から石垣が見えます。

## 8 花隈城天守閣之趾碑

福德寺門前には花隈城天守閣之趾碑があり本丸や天守があったとされます。

福德寺は戦で落命した人々の供養のために建立されたそうです。

神戸市中央区花隈町 15-3  
阪急花隈駅東口下車

## 5 走水(はしうど)神社



元町の天神さん厄神さんと親しまれています。

御祭神は菅原道真公、応神天皇です。

今より 1100 年前の平安中期に太宰府に赴かれる菅原道真公が旧走水村に数日間滞在され、村人との交流深く後に村の鎮守様として祠を建立したのが始まりです。

毎年 1 月 18～20 日に厄神厄除け祈願と古財布感謝供養祭を行っています。  
神戸市中央区元町通 5 丁目 6-1  
阪神西元町駅東口または阪急花隈駅  
市営地下鉄こうべ元町駅から各 3 分～5 分

## 6 西国街道の碑

元町商店街の通りは旧西国街道でした。元町 4 丁目こうべまちづくり会館前に碑があります。

### 佐保会兵庫県支部 支部だより等発送時の表紙デザイン募集のお知らせ

佐保会兵庫県支部では、支部だより等の文書をお届けする際に使用する表紙デザインを募集します。事務局で作品を選び、作者に連絡後、使用させていただきます。以下の要領で応募してください。

- 1 応募資格は、佐保会兵庫県支部の会員です。
- 2 形式は、絵画、写真、版画、イラスト、書等、デザイン手法は問いません  
データでご応募下さい。未発表のオリジナル作品とします。
- 3 応募先は、佐保会兵庫県支部 [jimukyoku@ml.saho-hyogo.girlfriend.jp](mailto:jimukyoku@ml.saho-hyogo.girlfriend.jp)  
メールでお送りください。
- 4 締切は、毎年 12 月 31 日とします

### 事務局 & HP 研究会からのお知らせ ～メールアドレス登録のお願い～

佐保会から各種のご案内やお知らせ、タイムリーなニュースをメールでお届けしています。現在、郵便物でお届けしている内容をメールでご案内でき、経費削減となります。是非ご登録をお願い致します。

メールアドレスの登録は、兵庫県支部ホームページからできます。

パソコン、スマートフォンからも登録できます。個人情報厳守佐保会以外では使用しません。

佐保会兵庫県支部 HP アドレス <http://saho-hyogo.girlfriend.jp/>



## 暮らしを見つめて

新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動が制限され、相当長い期間家にいることになりました。忙しくしていると私たちの視線、関心は外へ向かいがちですが、自粛の期間中それらはやや角度を変えたように思われます。どのようにすごされたか考えられたかを書いていただきました。

## 友からの贈り物

追野 幸 (S51 家食)

この数ヶ月不要不急の外出を控え、近くの商店街、通院、自宅の三点移動で静かに暮らしています。しかし、二月下旬頃、感染拡大防止のため、予約していた大相撲観戦、歌舞伎公演や旅行が中止になり気持ちが悪くなりました。そんな折、大学時代の親友から手製のマスクとレモンが沢山届きました。早速、ジャムや蜂蜜漬を作りました。台所に広がるレモンの香と御礼で掛けた電話の向こうの友の声に随分癒されました。

そして、この生活でもう一つ良いことがあります。今まで帰宅後の手洗い嗽に無頓着だった家族が今では忘れず実行しています。コロナ禍の収束後も続けてくれたら良いのですが……。

## 在宅勤務になつて

渡部 晴美 (S57 理物)

企業に勤務しています。私が所属する部署では機密保持のため在宅勤務の導入は遅れていました。しかし、一人感染者が出るとフロア全体が出勤停止となり業務が滞るので四月中旬から在宅勤務に。セキュリティ保護設定したパソコンが貸与され会社のサーバーとしか

繋がらない環境で仕事をしました。

会社では二台並べて画面を確認しながら仕事をしていたのに自宅では会社用は一台だけなので不便でした。またマンションで回線使用者が多いと通信速度が落ち時には通信が切れることもあり困りました。六月中旬からグループ毎に二日出勤し二日休むという体制に。

以前は週末にはジムで身体をほぐしていましたが休業になったので自分なりの運動を心がけました。ストレッチやテレビ体操(簡単そうでも侮れない運動も)、筋力が低下しないよう毎晩のように約三十分間自転車で走りました。

## コロナで亡くなった友達のこと

松原 秀江 (S43 文国 S45 文修国)

中学・高校と思春期を共にした友達が、六月二十七日、コロナで亡くなった。

彼女と親しかった訳ではない。母のお葬式が縁で、二、三回出席した同窓会で、彼女が勤務医で肺癌だったことも知ったのである。帰り際に思わず大切にしてネと声をかけ、又会いたいと云われ、その会もそれで終りにするつもりだったから、気になりお見舞を送りお返しもきて、葉書のやりとりもし、目覚ましく回復していると聞いていたのに、転んで外出禁止になり、コロナにまで感染して、彼女は亡くなった。五月も末頃まで?と云われていたから、彼女はいかにも彼女らしく、がんばったのだと思う。

彼女はいつも親の期待を一身に浴び、トップを走っていた。夏休みは野球の応援に現を抜かしこのチームは高校で甲子園まで行った、中原淳一の挿絵の満載された雑誌、『ひまわり』や『そいゆ』に夢中になっ

て、休み時間も放課後もしゃべりまくり、ノートまで廻し合せて、堀辰雄の『風立ちぬ』に憧れ、サナトリウムに入りたいと夢見ていた私などとは、大違いだった。そんな彼女が授業中、先生がふと口にした「大根足」という言葉に、突然大声で泣き出し、シンとする中終りの鐘の鳴るまで、泣き通したことがあった。

彼女と親しくなつて少したった頃、私は鏡花について調べている内に、とある記述に釘付けになった。彼女とかかわるのかどうかわからない。ただ私は両親の親達が、北海道に来た頃に思いを巡らせていた。北海道のほぼ中央にある旭川は、驚嘆にも価する程美しく、広大肥沃な上川盆地の中心地として開拓され、今も景観日本一と云われる駅の自然公園の中を、忠別川(アイヌ語の発音が転化し、旭川の名の基になった)は流れ、その少し向うの神々が楽を奏したと云われる丘の上にある上川神社の碑文には、旭川が東京などに継ぐ北京(ほつきょう)や、離宮予定地だった旨記されている。平成になって作られた能舞台も見て、輝くばかりに美しい北海道のほんの一瞬の夏の陽の光の中、市街地のほとんどを見下ろすその丘を下りながら、私は幼い頃両親に連れられ、遠くで除夜の鐘の鳴り終る中、初詣に来たような微かな記憶を、手繰り寄せていた。

彼女には九〇歳を超え認知症になり、何もわからない母親達いのお姉さんがあり、実家の内科(と私は思っている)医院を継いだ弟さんは最近亡くなって、その奥さんが新聞に出した死亡通知によれば、彼女は札幌市の市政功労者で、精神科医師だった。伊達市にも住所があるから、北大を出た彼女は、一と頃全国的にも有名だったそのホスピスの医師になり、誠心誠意尽くして、気付いた時には肺癌だったのだろう。中学・高

校の頃きれいな三つ編みにして、腰のあたりまであった髪は短く切られ、写真の中の彼女は知的な美しさの中で、少し苦し気に微笑んでいる。

私は思うのである。愛らしく健気で、気高い彼女の魂は、『星の王子様』のように高く夜空に輝いて、様々なことが次から次へと起る、火宅のようなこの世に生きる私達を、限りなく優しく、見守り続けているに違いない。川の街・旭川を創り潤す大雪山のように、維新後発展した神戸の街の、美しい自然や清らかな水、稀な良港の源である六甲山を仰ぎながら。

### 還暦を過ぎて

本田 篤子 (S 57 文国)

奈良女子大学を卒業し、もう四十年近くたってしまった。還暦も既に過ぎ、日本人女性の平均寿命までには遠いものの、無意識のうちに今までの人生の「おさらい」をする気分になっている。成人してからの過日ではなく、なぜかごく幼い頃の思い出をかき集めたくなった。きっかけは、数年前に他界した父との思い出がいろいろな「物」と繋がっていることに気づき、それを再び手に入れたくなったことだと思う。スマートフォン、パソコン等を日常的に使っている現在、その気になれば半世紀前の物が苦勞せずに入ることがわかった。

小学一年生のお正月に初めて父と二人で街に出かけ買ってもらったアメリカの着せ替え人形の「タミーちゃん」人形本体と「同窓会」とタイトルのついたスーツをネットストアで求め、ブラウスはネットのオーダーで作った。雑誌『小学二年生』の松尾美保子のバレ

エ漫画は、大学時代の同級生が国会図書館でコピーして送ってくれた。同じ二年生の頃、なぜか夢中で観ていた石坂洋次郎のテレビドラマはDVDで発売されていた。中学時代のNHK実写版ドラマ(イギリス)はユーチューブにあがっていた。海外の方の投稿だった。映画『いつか見た青い空』もDVDとパンフレットを入手できた。

幼い頃、田舎の片隅に住んでいた私には、学校の小さな図書室しか情報源がなかった。しかし、数少ない本から小さな手がかりを見つけ、それをたぐっていつ探していた物を見つけ出した喜びは、子供心にも貴重なものだった。好奇心がさらに大きな知識欲を生んだ。考えてみれば奈良女子大学を目指した時も、雑誌の大学紹介が唯一の情報源だった。

インターネット世界で魔法のように何でも手に入る現代の子供たちには、還暦になって忘れ難い「物」があるのだろうか。私は、この先は新しい「時」を取り込んでいきたい。青年海外協力隊に参加した長女が派遣された「世界一気温の高い国」ジブチを訪ねたこと、ベルギーで一般家庭に宿泊したこと、フィリピンのスモークマウンテンを訪ねたこと等、ツアーではできない旅行が心の中に残っている。これから先は、時間と体力、経済事情が許す限り、遠い国を訪ね、ネット社会の恩恵を受けて、その「時」を自分の中に残していきたいと思う。

### 下宿の思い出

永田 ひろみ (S 57 文教)

昭和五十三年、入学の際に大学から紹介されたのは大家さんの敷地内にある二階建て十二室の下宿でした。

台所とトイレ洗面所は共用。十円入れると十分間ガスが出るコンロがあり、マッチを擦って開栓するのは初めてなので恐る恐る点火したものです。毎晩、当番が廊下を掃きガス台と流し台を磨き上げるのが決まりでした。入居時には、家族以外の電話を取り次がず外部の友人を招くのは禁止と言われました。学生運動は下火になっていたものの警戒していたのだろうと思います。他にも細かいルールが多く窮屈なので二回生の冬に転居しました。

そこも大家さんの敷地内に建つコーポでしたが、各室、台所トイレ付き。しかし風呂は無し。当時はトイレが付いているだけでも贅沢と言われたものです。通用門脇にピンク公衆電話がありました。使用中だと外の公衆電話まで掛けに行きました。まだテレフォンカードさえない時代なので十円玉を幾つか持つて。それでも大家さんの家屋を通らずに部屋に入れるので門限がなくなり、解き放たれた感がありました。

今は浴室どころかエアコン完備。今では学生寮も個室になっているよう。若い方々には想像もつかない不便な生活でしょう。しかし、大家さんと学生また学生同士の関わりは濃かったと思います。家賃は手渡しで両親は奈良に来る度に大家さんに挨拶し年賀状のやり取りもしていました。

真面目な学生ではなかったので、学生時代を振り返ると思い出すのは二つ目の下宿での友人達との関わりばかりです。連れ立って銭湯に行ったこと、騒ぎ過ぎ大家さんに叱られたこと、一部屋に集まって遅くまで話し込んだこと、皆で遊びに出かけたこと……

四十年前の友人達の顔と一緒に過ごしたあれこれが今でも鮮やかに甦ります。

～事務局だより～

令和元年度事業

- 令 1.6.1 (土) 支部総会(神戸元町風月堂ホール)
- 8.25 (日) 第25回地区リーダー会(神戸市勤労会館)
- 11.5 (火) 第44回睦会(楠公会館)(昭和51年卒業者担当)
- 令 2.2.1 (土) 「支部だより」第43号発行(神戸市灘区担当)
- 2.29 (土) 「支部だより」第43号「佐保会報」「Today」  
全会員に発送(1190通)(明石生涯学習センター)
- 2.29 (土) 「支部だより」引継ぎ会(明石生涯学習センター)  
(灘区→中央区・兵庫区・長田区)
- 3.31 (火) 会計監査

**令和3年度支部総会のお知らせ**  
 令和3年6月5日(土)  
 ホテルクラウンパレス神戸  
 JR神戸駅南へ徒歩3分  
 デュオ神戸浜の手直結

令和2年度事業

- 令 2.6.6 (土) 支部総会(書面による議決)
- 8月 地区リーダーにアンケートを実施
- 11.23 (月) 紅葉会 (姫路城・好古園)
- 令 3.2.1 (月) 「支部だより」第44号発行(神戸市中央区・兵庫区・長田区担当)
- 2.27 (土) 「佐保会報」「Today」「支部だより」等発送
- 2.27 (土) 「支部だより」編集担当引継ぎ会  
(神戸市中央区・兵庫区・長田区→神戸市北区)
- 3.27 (土) 会計監査



(参考)令和3年度について

「支部だより」第45号 編集は神戸市北区の担当  
 「第45回睦会」は昭和52年卒業者の担当(楠公会館)

令和2年度 新入会員(30名)

氏名	卒業学部	住所	氏名	卒業学部	住所	氏名	卒業学部	住所
畑 小百合	文歴史	西区	梶谷 有里	理化生	伊丹市	馬場 有希	生環心スポ	西宮市
上畑 絢瑛	文メディア	須磨区	藤原 朋子	理化生	西宮市	奥西 満里奈	生環情衣	東灘区
正司 華也子	文メディア	東灘区	西村 優花	理化環	西宮市	岡本 咲弥花	生環住	県外
鈴木保 幸奈	文メディア	赤穂市	宮本 紗季	理化環	三田市	細野 遥香	生環住	姫路市
杉本 優芽	文日亜	尼崎市	由良 南々帆	理化環	豊岡市	堀上 薫乃	生環住	豊岡市
守澤 亜梨沙	文日亜	姫路市	岡 美佐	生環食	淡路市	中村 美貴	生環住	西区
堀川 久留海	理科数	三田市	廣畑 万結	生環食	灘区	常陰 歌歩	生環文	伊丹市
高田 伊代	理科物	兵庫区	須川 真奈江	生環心入 <sup>o</sup>	明石市	岡本 佳奈	生環文	佐用郡
畑 久美子	理科連	東灘区	出水 有紀	生環心入 <sup>o</sup>	尼崎市	室山 明日香	博前食	三田市
入佐 充音	理化化	西宮市	長谷部 楓美	生環心入 <sup>o</sup>	西区	劉 夢瑤	博前文	中央区

< 編集後記 >

(担当:中央区・兵庫区・長田区)

令和2年は新型コロナウイルスの感染が広がり、それまでの暮らしが一変した年でした。非常事態宣言が発せられ三密を避けることが求められました。佐保会兵庫県支部でも活動の中止や変更を余儀なくされました。編集委員を選出し話し合うことも難しく、無事に発行できるのかと不安になったこともありましたが、43年にも渡って繋いできた灯をここで消してはならないとの思いから、できる範囲で発行しようとして少人数で取りかかりました。そのなかで先輩方が残された記録に助けられ、長年、積み上げてきた佐保会の力を感じました。今回は編集にあたってはHP研究会の指導を受けてPCを使った完全原稿を作成しました。文字・写真・表等のレイアウトをすべて自分達で行い、校正した完全原稿の印刷のみを印刷所に依頼しました。密を避けて楽しめるように特集ページでは町中にある史跡の一部を紹介しました。近くにおいでの際には少し足をのばして散策なさってはいかがでしょうか。

原稿を快く引き受けてくださいました会員の皆様、及び支部役員の方々に心よりお礼申し上げます。編集を通して新しい御縁をいただいたことを嬉しく思います。

多くの会員の皆様のお力添えで発行できましたことを深謝いたします。(編集委員:瀬川・永田)